



平成21年度倉敷市市民企画提案事業の評価及び
平成22年度継続事業の審査について

答 申

平成22年3月16日

倉敷市市民企画提案事業審議会

平成21年度倉敷市市民企画提案事業の評価及び

平成22年度継続事業の審査について（答申）

目 次

	頁
市民企画提案事業審査結果	1
委員名簿	15

倉敷市市民企画提案事業審議会は、倉敷市が実施した平成21年度市民企画提案事業の実施結果の評価と、同事業のうち、平成21年度の継続事業として応募のあった事業について、評価、審査を行う機会を与えられました。

市民企画提案事業は、平成21年度で5年目を迎え、市民公益活動団体の積極的な地域活性化に向けた取り組みの広がりや市民と行政の協働の機運の高まりが感じられつつあります。

各事業の評価、審査にあたっては、事業の目的が達成されたかどうかを主眼として、公益性、協働性などの評価項目や継続の有効性、事業内容の発展性などの審査項目に照らして、慎重かつ厳正に審査に臨みました。

本事業が地域の活性化だけでなく、コミュニティの再生や社会環境等の改善につながり、市民サービスの向上に寄与することを念頭に、平成21年度実施事業の評価では、事業成果報告書及び協働事業評価書の内容を吟味し、報告会での発表内容、質疑応答を踏まえ、当初の目的に沿った内容であったか、どの程度、審査会からのアドバイスを基に軌道修正したのか、またその結果、どういった効果があったか等、事業成果の検証に努めました。更に、平成21年度の継続提案事業については継続の必要性について慎重に審議しました。

結果として、平成21年度実施事業の評価（評価得点によりS・A・B・C）では、S評価に至った事業はありませんでしたが、A評価の事業は6件、B評価の事業は2件であり、C評価の事業は0件で、全事業が相応の成果を挙げているとして評価したところです。

また、継続事業の審査対象となった5件の平成21年度実施結果については、全事業がA評価として高い評価を受け、継続審査得点も基準点である20点を大幅に上回り、全てが採択基準点を超えるという審査結果となりました。

講評については、次の「審査結果及び講評」に併記させて頂きました。

最後になりますが、倉敷市民企画提案事業の事業目的にご理解頂き、さらには審査にかかる質問等に関しても丁寧に対応して下さった関係者の皆様に心からお礼を申し上げます。

平成22年3月16日

倉敷市民企画提案事業審議会
会長 鈴井江三子

【選考過程】

事前に配布された事業報告書，収支精算書，協働事業評価書等を基に，2月21日に開催された事業成果報告会において，提案団体による事業実績や収支決算に関する説明と，担当課による意見発表，審議会委員による質疑応答を行った。

平成21年度実施事業13事業について，当初の目的を達成できたか，事業内容はどうであったか，また，公益性，協働性や波及効果などの観点から評価を行った。

さらに，次年度への継続を希望する5事業について，継続することの有効性，事業内容の発展性，費用負担の適正について審査した。

【評価基準】

公平性を確保するため、提案事業の関係者となる委員は審査を外れることとし、各委員ごとに事業評価及び継続審査の採点を行うこととした。事業評価については、提案事業ごとに各委員100点を持ち点とし、継続審査については同じく40点を持ち点とした。いずれも全委員の得点のうち最高点及び最低点を除いた得点の平均点を評価点とした。

継続提案事業の採択基準は評価点が50点以上、継続審査基準を20点以上の両方を満たすものとした。

事業評価<評価項目及び配点(100点満点)>

評価項目		評価のポイント	配点
公益性	① 目的 (公益性) (重要性) (緊急性)	事業の目的が達成されているか (達成されている)(ある程度達成されている) (あまり達成されていない)(達成されていない)	20
		不特定多数の者の利益の増進に寄与するなど公益性の高い事業となったか	
		事業の緊急性・重要性など課題の解決に結びついているか	
事業の成果	② 事業内容 (計画性)	事業内容の達成度合いはどうであったか (達成されている)(ある程度達成されている) (あまり達成されていない)(達成されていない)	20
		期待される成果があがっているか	
		当初の目的に沿った事業内容が計画どおり実施されているか	
		実施時期が適切であり、十分な準備期間・手段が取られていたか	
	③ 費用負担	当初計画の参加者、出席者、利用者数などが達成されているか	10
④ 人材配置	事業収支は適切であったか	10	
	費用対効果はどうであったか		
協働性	⑤ 協働性	事業実施にあたり人的支援(技能・能力)は充分であったか	20
		ボランティアスタッフや他の団体を巻き込んで実施されていたか	
		市民団体と行政が協働で取り組むことにより、効果的な事業となったか	
効果及 波及	⑥ 独自性・将来性	提案団体と市の役割分担が明確かつ妥当で、 それぞれの役割を果たしていたか	20
		役割分担を果たすための協議が充分になされ、相互理解ができていたか	
評価区分		他の団体(行政を含む)に先駆けた内容もしくはモデルとなる事業となったか	20
		事業への理解が得られ発展性・普及性がある事業となったか	
		S(期待された成果を十分に達成)……………90点以上	
		A(期待された成果を一定以上達成)……………70点以上90点未満	
		B(期待された成果を一応達成)……………50点以上70点未満	
		C(期待された成果が達成されていない)……………50点未満	

継続事業審査<評価項目及び配点(40点満点)>

継続の 必要性	継続の有効性	継続することにより、前年以上の効果が見込めるか 提案団体と担当課の双方が、事業継続の効果が高いことを見込んでいるか	20
	事業内容の 発展性	20年度の事業実施結果を基に、事業内容のステップアップ等を行い、 事業の発展性が見込まれるか	10
	費用負担 の適正	予算配分は適切であるか 経費節減を図り、無駄のない予算となっているか 自己資金の調達は担保されているか	10

審査結果及び講評

平成21年度に実施した市民企画提案事業の13事業について成果報告が行われた。このうち平成22年度の継続提案事業は5件であった。

平成21年度で事業を終了する市民企画提案事業の評価（評価得点によりS・A・B・C）は、S評価に至った事業はなかったが、A評価は6事業、B評価は2事業であり、C評価は0件であった。

A評価のあった6事業の中で、高い評価を受けたのは「いきいきたんぼ食育大作戦」と「倉敷川の水辺に親しむ環境教育・水辺の再生事業」であり、親子を対象として地域にある豊かな自然を利用し、次世代育成に向けた環境への意識啓発と世代間交流の取り組みを行い、その成果が十分に伺える事業であった。また、「わくわく親子イベント-2100年の倉敷の子どもたちへのタイムカプセル」や「いじめ・不登校・虐待への新たな対応-福祉的視点を通じて-」も、子どもたちの健やかな成長と発育を支援する有効な事業であった。さらに、地域の人的資源の有効活用としては「ITボランティア育成講習会の実施」、「災害に強い、自立した市民づくり講座」、及び「自然エネルギー利用普及啓発活動」があり、地域社会のニーズがありながら、中々広く啓発活動や指導ができない事業内容を展開するものであった。

この他、行政提案事業であった「市民活動パワーアップのための調査・研究事業-市民活動の共通課題にネットワーキングで取り組む場づくり-」は、大規模な量的・質的調査を実施することにより、市民活動をより活性化するための要因を抽出し、今後の市民活動支援を行う上で有用な調査であった。

平成22年度の継続提案事業は全5事業であり、平成21年度の実施結果は、全てがA評価であり、事業内容と活動意欲が高く評価され、継続事業として承認された。

継続提案事業の中で、最も高い評価を受けたのは「乳がん撲滅キャンペーン!!と乳がん術後のケア!!」であり、乳がん予防に向けた手技や検査の必要性を啓発し、その活動範囲も広域であることから、継続を強く期待されるものであった。また「竹林音楽祭」、「倉敷の水源、酒津からホテル復活プロジェクト」、「倉敷観光キャラバン隊」は、竹林や公園等という地域特有の資源を活用することで、独自の観光資源を開発しようとする面からも期待される事業であった。さらに、「三島中洲の資料情報の収集と台帳化」においては、三島中洲の資料情報の所有者を訪問し、諸資料を収集し、郷土の偉人史を発掘し、次世代に伝承しようとするものであった。

高い評価を受けた事業は、広報活動、資源活用や他団体との連携などが上手く行われて事業効果を高めていたが、全体として、事業実施後の効果測定や課題の洗い出しを行い、次年度に向けた見直しなどの振り返りを行っている事業がまだまだ少ないと思われるので、今後の課題として取り組んでもらいたい。

また、広報媒体や社会資源を有効に活用し、他団体との連携を深めることによって、さらに効果的な取り組みが生まれる可能性も生まれ、費用対効果を高めることも期待できるので、その取り組みにも期待するところである。

この他、行政の担当課、関係課の連携が乏しいために、資源の有効活用ができていない事業もあったので、改善に取り組んでもらいたい。

平成21年度事業評価及び平成22年度継続事業審査結果

部門	事業名	団体名	評価	継続可否
市民提案部門	倉敷の水源・酒津からホテル復活プロジェクト	酒津のホテルを親しむ会	A	可
	竹林音楽祭	エコプロジェクト事業推進委員会	A	可
	倉敷観光キャラバン隊	倉敷の踊り振興会	A	可
行政提案部門	乳がん撲滅キャンペーン！！と乳がん術後のケア！！	QOL“輪唱”岡山テイクハート	A	可
	三島中洲の資料情報の収集と台帳化	中島学区郷土を学ぶ会	A	可

平成21年度事業評価

部門	事業名	団体名	評価
市民提案部門	いきいきたんぼ食育大作戦	いきいきたんぼ食育協議会	A
	「災害に強い 自立した市民づくり」講座 (倉敷市民の皆様へ 災害に備える、自助・共助を学ぶ機会を…)	倉敷市災害ボランティアコーディネーター連絡会	A
	自然エネルギー利用普及啓発活動	特定非営利活動法人 自然エネルギー・環境協会	B
	IT-ボランティア育成講習会の実施	ボランティアグループ IT-ふたば会	A
	いじめ・不登校・虐待への新たな対応 ～福祉的視点を通じて～	特定非営利活動法人 kitalpha	B
	わくわく親子イベント 2100年の倉敷の子どもたちへのタイムカプセル	おかやまコープクラブ 倉敷子どもの未来を考える会	A
行政提案部門	倉敷川の水辺に親しむ環境教育・水辺の再生事業	蔵おこし湧々	A
	市民活動パワーアップのための調査・研究事業 －市民活動の共通課題にネットワーキングで取り組む場づくり－	くらしきパートナーシップ推進ひろば	A

各事業講評

(平成22年度に継続を希望する事業)

市民提案部門

事業名	倉敷の水源・酒津からホタル復活プロジェクト	評価
提案団体 市担当課	酒津のホタルを親しむ会 耕地水路課	A
提案事業概要	永続的にホタルが復活し自然再生できるよう、酒津の配水地周辺にビオトープ（ホタルが生息できる人工水路）を整備し、その実験結果に基づいて農業水路の環境整備に取り組む。	
<p><21年度実施事業の講評></p> <p>ホタルの飛ぶ自然環境と人工構造物の共存を目的に企画した事業として、市民の環境問題に対する意識を高める意味からも、重要な事業である。中心になるホタルの飼育・繁殖実験水路構築には、地元有志や子どもたちも参加するなど、多くの市民を巻き込んだ環境問題啓発にも意義があった。なお、酒津からその下流部用水路へのホタルの生息拡大のための様々な問題点解明・解決まで手が回らなかった点はあるが、今後への出発点となった事業としては評価される。</p>		
<p><22年度継続提案の講評></p> <p>実験水路の成果を踏まえ、今後倉敷市全域がホタルの生息環境に適するように整備をしてゆくためには、市をはじめ各種水利団体、農業関係者との協働が不可欠である。また農業用水路、池などでのホタルの安定生存・飛翔を考えてゆくことは、様々な環境問題への市民の意識啓発にもつながり、意義のあることと考えられる。</p> <p>一部署だけの支援でなく、市各関係部署の支援、協働が不可欠である。</p>		

事業名	竹林音楽祭	評価
提案団体 市担当課	エコプロジェクト事業推進委員会 真備支所産業課	A
提案事業概要	<p>箭田地区の竹林で、竹を材料とした楽器等の演奏による音楽祭を行う。整備された緑の竹林の美しさを鑑賞していただくため、ライトアップ、竹キャンドル、竹のオブジェによる演出を行う。</p>	
<p>< 21年度実施事業の講評 ></p> <p>「竹のまち」真備の竹林の魅力と、これを利用した町おこしのためのイベントとして、周辺市民への親善・相互理解を図る上で、竹林音楽祭の果たす役割は大きく、高い評価を得た。地域資源である美しい竹林と竹を使った特産品で、地域の活性化を図ろうとする取り組みは、他のモデルとしても評価出来る。イベント開催には多くの人、資金がかかっており、世代を超えた参加者にアピールできるイベントを考えてゆく必要がある。</p>		
<p>< 22年度継続提案の講評 ></p> <p>来場者、市民からも好評なイベントと定着しつつある。真備の町おこしの為には今後も開催が望ましいが、地域単独資金だけでは継続は難しそうである。</p> <p>今後、各種の助成を得ることも必要と考えられ、若い人たちにも企画段階から参加を呼びかけ、さらに企画力を増し、竹の魅力を発信し、幅広い層に共感・理解される催しとする為の工夫が必要である。</p> <p>また、整備された竹林の美しさを観賞していただく音楽祭にとどまらず、竹林の整備に向けた町おこしの起爆剤となることを期待するものである。</p>		

事業名	倉敷観光キャラバン隊	評価
提案団体 市担当課	倉敷の踊り振興会 観光課	A
提案事業概要	観光客も年々減少の傾向をたどっているので、元気のある明るい倉敷(町おこし)を作る為、白壁の町に似合う着物を着てあたたかいもてなしの心で道案内をしたり、日本伝統文化のお茶を体験していただき、帰られた時、倉敷で楽しかった事を伝えていただきリピート客を増やし、美観地区周辺の活性化になる様な思いで実現する(観光客と一緒に着物を着て案内する)	
<p>< 21年度実施事業の講評 ></p> <p>倉敷美観地区を訪れた観光客を対象に、お茶の作法や着物の着付けを取り入れながら観光客をもてなした人数は467名であった。</p> <p>本事業は、国内だけでなく海外からの観光客にも好評で、継続の必要性がある事業であると評価された。また、行政との連携も密であり、本事業の目的である行政との協働という観点からも評価できるものであった。</p>		
<p>< 22年度継続提案の講評 ></p> <p>お茶と着物の着付け体験は好評であり、定期的な実施時間と場所の確保を行い事業が計画されている。</p> <p>今後は、観光課と協働して広報PRを一層充実させることが望まれる。また、外国人に対応する通訳などの工夫をするとともに、若い世代のメンバーの参加も図り、活気あふれる倉敷の観光イメージを高める活動となることを期待したい。</p> <p>次年度においては、参加者のアンケートを実施するなど、内容の充実を図ることを期待するものである。</p>		

行政提案部門

事業名	乳がん撲滅キャンペーン！！ と乳がん術後のケア！！	評価
提案団体 市担当課	QOL“輪唱”岡山 テイクハート 健康づくり課	A
提案事業概要	<p>昨年に引き続き、地域のイベントに参画して乳がんの正しい知識と早期発見の為にマンモグラフィ及び自己検診の重要性についての講話を通じて、地域に密着した普及活動を行う。</p> <p>体験者による術前・術後の精神面及び日常生活のサポートの大切さを知ってもらうとともに、必要な人にはサポートを行う。</p>	
<p>< 21年度実施事業の講評 ></p> <p>乳がん予防の啓発と支援を目的に実施している本事業は、乳がんの人口が増加している現状から、公益性の高い事業であると評価できる。</p> <p>実施内容は、乳がんの専門医である医師等の医療関係者と連携し、ドキュメンタリー映画の上映と体験者をファシリテーターとしてのグループトークを実施した。また、乳がんの早期発見を図るために、地域のイベントに参加し、乳がんの正しい知識と検診の重要性についても啓発活動を積極的に行い、女性の乳がんに対する不安軽減や予防活動を推進してきた。</p> <p>これらの活動は、倉敷市内の各所で実施されており、高い評価を得た事業である。</p>		
<p>< 22年度継続提案の講評 ></p> <p>本事業は、各地域で開催されるミニ健康展への参加数も増加するなど、事業への期待とニーズが高いことから継続の必要性が高い事業であると評価された。</p> <p>2カ年の事業実施により受信率の低い年代や地域があることが分かり優先的に活動したいとして課題を整理しており、一層の取り組みの進展が見込まれる。また、マンモグラフィ等の早期発見をする検査の利用率が伸び悩んでいることから、様々な広報媒体を活用するとともに、各種イベントに積極的に参加するなど、さらに予防教育の啓発活動を推進することが期待される。</p>		

事業名	三島中洲の資料情報の収集と台帳化	評価
提案団体 市担当課	中島学区郷土を学ぶ会 文化振興課	A
提案事業概要	三島中洲に関する講演会の開催。情報収集・研究成果の小冊子の刊行。関連資料の検索・情報収集活動。資料のデジタルデータ収集と台帳化。中島小学校の総合学習の題材とする。三島中洲の設立した二松学舎大学との連携を図り、研究の道筋をつくる。	
<p>< 21年度実施事業の講評 ></p> <p>地元中島出身の偉人三島中洲の功績を称え、中洲に関する資料収集を行い、それを台帳化する事業である。</p> <p>今年度は約100点の資料を収集すると共に、備中松山藩に対して三島中洲が外洋を走る帆船の購入を進めた話や、漢学者でありながらオランダ語から英語に切り替えてゆく必要性等を説いた話を、諸資料を用いて郷土史家による講演会を実施した。また、中島小学生約150人を対象に郷土の偉人として総合学習で取り上げている。</p> <p>次世代を担う小学生に郷土への誇りをもたせるなど、継続の必要性がある事業であると評価された。</p>		
<p>< 22年度継続提案の講評 ></p> <p>倉敷を代表する三島中洲の資料は、多くの市民の協力を得たことで、新たな発展が見込まれる。今後、さらなる関連資料の探索と情報収集活動以外に、情報収集した諸資料の整理、分析を深め、収集した諸資料の貴重性を高める作業が必要である。</p> <p>得られたデータを用いて、三島中洲に関する講演会の開催を地元小学校等で開催し、次世代の子供たちの郷土愛を育む教育の一助とすることが期待される事業である。</p> <p>しかしながら、二松学舎大学との連携を地域に還元するという観点に立ち、さらに、効果的な事業となるよう計画する必要がある、経費についても再検討を促すものである。また、収集した資料の整理、分類方法を工夫することも必要であるとの意見もあった。</p>		

(平成21年度で終了する事業)

市民提案部門

事業名	いきいきたんぼ食育大作戦	評価
提案団体 市担当課	いきいきたんぼ食育協議会 健康づくり課	A
提案事業概要	<p>倉敷市内の親子が参加し「田植え」を行う 食育講座・親子郷土料理教室を開催 手刈りによる稲刈り 収穫祭を行い、参加者へアンケートを実施する</p>	
<p><21年度実施事業の講評></p> <p>日本人の主食である米について考えることは大切なことである。</p> <p>本事業は親子が参加して行う米作りと収穫後の料理教室を通して食の大切さを学ぶものであり、これらの体験が毎日の食について考えるきっかけになるものであると、最も高い評価を得ている。</p> <p>食の知識、農業体験だけでなく、市の食育推進係との協働により、食の文化、健康づくり、安全などについても体験できた意義ある事業となった。</p> <p>今後、さらに、自然への関心を深め、食の安全及び食育を考えてゆく取り組みが展開されてゆくことを期待する。</p>		

事業名	「災害に強い 自立した市民づくり」講座 (倉敷市民の皆様に 災害に備える、 自助・共助を学ぶ機会を…)	評価
提案団体 市担当課	倉敷市災害ボランティアコーディネーター連絡会 防災危機管理室	A
提案事業概要	<p>野島断層視察研修をはじめ 実践的な講座を全7回行い、主に自助・共助の部分を学ぶ そして一人でも多くの人と災害について話し合い、自ら出来る事を実践に結びつけるように勧め、災害に強い街づくりをめざします。</p>	
<p><21年度実施事業の講評></p> <p>本事業は、防災対策に関する市民の意識啓発活動を目的とした事業である。</p> <p>講座内容は神戸震災の爪あとの現地視察、避難所体験、炊き出し、救助訓練などの体験講座や市防災危機管理室、消防局、備中県民局などとの連携した講座となっており、幅広い層からの参加を得て、災害に対する市民の意識啓発が図れたことは評価出来る。</p> <p>今後も引き続き地域を巻き込んだ防災に対する意識啓発活動を進めることで、より一層の効果が期待できる。</p>		

事業名	自然エネルギー利用普及啓発活動	評価
提案団体 市担当課	NPO法人 自然エネルギー・環境協会 環境政策課	B
提案事業概要	地球温暖化は異常気象等の形で人々の生活不安をもたらしている。各所でプレゼンテーション、パネル展示、家庭の省エネ診断など（以下「イベント」という）を開催し、自然エネルギーの利用機器・省エネルギー設備による二酸化炭素削減事例を広く知らしめることにより市民の二酸化炭素排出抑制活動への参加意識を高める。	
<p>< 21年度実施事業の講評 ></p> <p>本事業は、自然エネルギーの利用や省エネルギー機器の導入を啓発するための活動であり、地球温暖化対策としても必要な事業である。</p> <p>主な集客の広報がチラシ配布であったことから、開催事業への参加者が少なく、効果も薄れたが、啓発・教育用に大量のパンフレットを作成し、配布した努力は認められる。</p> <p>講演会の内容、広報活動への工夫、担当課との打ち合わせ等の協働の工夫が必要であると思われる。</p> <p>今後、集客方法、内容を検討する必要があるが、自然エネルギーの利用の普及啓発の効果を高めるために、他の省エネルギー対策事業とタイアップすることも有効であると思われる。</p>		

事業名	IT-ボランティア育成講習会の実施	評価
提案団体 市担当課	ボランティアグループ IT-ふたば会 情報政策課	A
提案事業概要	IT-ボランティア育成講習会を契機として、情報化社会に望まれる、基礎的事項を指導出来る熱意を持ったボランティアの育成を図る。指導内容はインターネット・メールの利用 賀状などの簡単な文章の作成。	
<p>< 21年度実施事業の講評 ></p> <p>本事業は、パソコンの指導ができるボランティア育成講習会を実践しているものであり、時代のニーズだけでなく地域のニーズにも対応している事業である。</p> <p>パソコン指導ボランティアは、高齢者や主婦など、パソコンの使用方法を学ぶ機会が少ない人たちには需要が高く、年賀状やカレンダーの作成等、パソコンの利用を身近なものとしていることや、受講者の中からパソコン指導ボランティアを育成、発掘している点を評価するものである。</p>		

事業名	いじめ・不登校・虐待への新たな対応 ～福祉的視点を通じて～	評価
提案団体 市担当課	特定非営利活動法人 kitalpha 教育センター	B
提案事業概要	「いじめ・不登校・虐待への新たな対応」に関する講演会を開催する。 公演でアンケート実施し、データを集計する。	
<p>< 21年度実施事業の講評 ></p> <p>いじめや不登校で悩んでいる子どもの支援方法に焦点を当て、家庭・地域・学校の連携を目指しながら、スクールソーシャルワーカーとしての役割を広く啓発する事業である。</p> <p>スクールソーシャルワーカーは、まだ日本においては新しい概念であるが、欧米では定着しつつあり、子どもの置かれた状態を、心理面だけでなく家庭環境など、多面的に捉える考え方の必要性を、講演会を通じて周知してきた。</p> <p>次世代育成の観点からも、意義深い事業であったが、活動内容は講演会の開催のみであり、倉敷市スクールソーシャルワーカー導入の環境づくりのスタートにすぎない。</p> <p>今後の行政の取り組みにつながることを期待するものである。</p>		

事業名	わくわく親子イベント 2100年の倉敷の子どもたちへのタイムカプセル	評価
提案団体 市担当課	おかやまコープクラブ倉敷子どもの未来を考える会 市民活動推進課	A
提案事業概要	未来に残したいもの、誇れるものをテーマに親子の絵画を募集し、選考し、絵本を作り、市内の図書館に寄付します。絵本の発表会と、同じテーマでの意見交換会、わいわい親子会議を開催します。	
<p>< 21年度実施事業の講評 ></p> <p>本事業は、子どもたちと保護者が未来に残したいものや大切なものについて一緒に考え、表現する機会を提供するとともに、それを子どもたちに絵画にしてもらい、絵本としてまとめ発表することで、多くの人々が未来に残したいものなどを考えるきっかけとなることを目的として実施した事業であった。</p> <p>親子での会議を行うことや、完成した絵本を小学校や図書館等に寄贈し活用してもらうなど、情操教育の一助となっていることが評価された事業であった。</p> <p>しかし、応募した子どもの数が想定数を下回ったことから、広報活動に工夫が必要であったことは否めない。</p>		

行政提案部門

事業名	市民活動パワーアップのための調査・研究事業 ー市民活動の共通課題にネットワーキングで 取り組む場づくりー	評価
提案団体 市担当課	くらしきパートナーシップ推進ひろば 市民活動推進課	A
提案事業概要	NPO, 学識経験者, 近隣支援センター, 県民局, 市, 等, 多様な参加による研究会を開催。NPOへのヒアリング, アンケートによる調査を多面的に進め, セクター全体の課題や今後必要な対策の明確化を目標とする。	
<p>< 21年度実施事業の講評 ></p> <p>本事業は, 市民活動をより活性化させるためには, 何が必要なかを明らかにするための調査・研究である。</p> <p>本調査は, 市民と行政の協働を推進する上でも重要な資料となるものと期待される。調査メンバーは, バリエティーに富んでいて, さまざまな意見, アイディア, 知識が上手に集約され, 団体へのインタビュー調査でアンケートを補完するなど, 行政単独では出来ない内容を含んでいる。</p> <p>行政の支援策の検討が次年度以降の課題であり, 調査結果をどのように活かすのか今後期待したい。</p>		

事業名	倉敷川の水辺に親しむ環境教育・水辺の再生事業	評価
提案団体 市担当課	蔵おこし湧々 下水計画課	A
提案事業概要	カワセミやホタルの住める「かわまちづくり」のため, 舟下りや水辺コンサートを開催するとともに, 美観地区を中心に, 水辺の生き物調査, 親子水辺教室を実施し, 倉敷川の清流保全のための市民活動を普及する。	
<p>< 21年度実施事業の講評 ></p> <p>本事業は, 地域の人たちが倉敷川の水辺に関心を持ち, より親しくなる取り組みをしているものであり, 今年で3年目を迎えた。</p> <p>倉敷川の水質調査・いきもの調査を始め, 水質浄化材を作るなど, 水質改善に取り組み清流保全活動を実践した。倉敷川の水質は透明度を増し, 今ではアユをはじめとする川魚も多くみられるようになったことを, かわまちづくり体験教室などを通じて参加者は体験している。</p> <p>また, 市民を対象にした「かわまちづくり体験教室」, 「水辺のコンサート」の開催や倉敷商業高校の生徒, 付近住民の参加による清掃活動が実施されるなど, 多くの市民参加により事業実施されたことを評価するものである。</p>		

倉敷市市民企画提案事業審議会委員名簿

	氏 名 (敬称略)	所 属 等
	あだち れいと 安達 励人	倉敷市立短期大学 准教授
	おさき ひろこ 尾崎 浩子	水島おかみさん会 会長
副会長	かわべ せいいちろう 河邊 誠一郎	倉敷の自然をまもる会 会長
	こやま えつし 小山 悦司	倉敷芸術科学大学 教授
会長	すずい えみこ 鈴井 江三子	川崎医療福祉大学 教授
	つちや ひとみ 土屋 瞳	男女共同参画フォーラム2000まび 代表
	はらだ じゅんこ 原田 純子	公募委員
	ひらい けんじ 平井 健司	倉敷青年会議所 常任理事
	まきの ようこ 牧野 陽子	公募委員
	まつお しげき 松尾 茂樹	岡山県備中県民局協働推進室 室長
	もりもと きよし 森本 潔	児島商工会議所 事務局長
	もりや みゆき 守屋 美雪	ふるさとももたろう塾 卒塾生

50音順